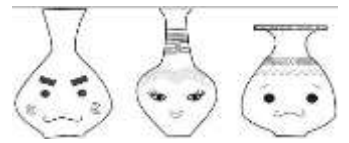


どきどき通信 No.3



平成 26 年度の白岩遺跡出土の杵と殿ヶ谷遺跡出土の漆皿の複製品に続き、平成 27 年度には上平川大塚 1 号墳から出土した三角縁神獣鏡の複製品を作りました。考古学の世界では非常に有名な鏡ですが、菊川市内から出土していたことは意外と知られていません。

95年ぶりの 帰還



中国で信仰されていた神様や、獣が立体的に表現されています。こちらは鏡の裏側です↑



何もないうつろの面が表です。

撮影のカメラや三脚が映っているのがわかるかな？
そこまでそっくりなんだね！



銅鏡はその名の通り銅製の鏡ですが、ただ単に姿を映すための道具ではなく、宗教的な意味を持った特別なものであったことは確実です。弥生時代から古墳時代にかけては、有力者のお墓に副葬品として埋葬されることが多くあります。縁の断面が三角形で神獣が描かれている種類の鏡は「三角縁神獣鏡」と呼ばれています。三角縁神獣鏡は、卑弥呼が中国の皇帝からもらった鏡であるという説があり、今回作成した鏡も中国で作られたと考えられています。卑弥呼がもらった鏡かどうかは、永遠の謎かもしれませんが、同じ鑄型で作られた鏡が京都府、岡山県、三重県で見つかっていることから、上平川大塚 1 号墳に葬られた人物は畿内や他の地方の有力者とながりを保持していたことがわかります。レプリカではありますが、みなさんも古代のロマンに触れてみてください



レプリカは 3 次元計測など最先端の技術を利用して作りました。(写真上)しかし、細部の修正や彩色などの仕上げは、本物と見比べながら専門の技術者が行いました。(写真右)

レプリカ作成



上平川大塚 1 号墳

上平川大塚 1 号墳は菊川市上平川字大塚にありました。大正 10 (1921) 年に土を採るために崩され、古墳はそのまま失われてしまいました。

当時の記録から、全長が 20~23m、後円部径が 15m ほどの前方後円墳と推定されます。

この三角縁神獣鏡を含めて銅鏡 3 面、刀剣類 1 振、勾玉・管玉・ガラス玉といった装身具が見つかっていて、現在は東京国立博物館に所蔵されています。

逸品コーナー



赤谷遺跡から出土した弥生時代の壺です。前号までに紹介した弥生時代中期の「嶺田式」「白岩式」に続く後期の「菊川式」です。

嶺田式、白岩式と違って、遺跡名ではなく旧菊川町・菊川流域というところから名付けられたようですが、赤谷遺跡出土の土器が基準になった可能性があります。

赤谷遺跡には、かつては菊川東中学校が、今は静岡県農業研修会館があります。弥生時代の土器ですが、胴体には縄文で模様が付けられています。まぎらわしいですね。でも、菊川市の「菊川式土器」は郷土の誇りといってもよいでしょう。考古学好きの有名人が「菊川式土器」を見に来られたこともありますよ。



あそびにきてね

キクガワ君

今年もやるよ！ どきどきフェスティバル

過去2年間開催したどきどきフェスティバルを今年も開催！！

小学低学年の「土器作り」と高学年の「焼きびな作り」の2コースを用意しています。

7月24日（日）と8月7日（日）の2日間でそれぞれ完成させます。詳しくはちらしを見てね。

土器焼きの間には火起しなどもできるよ！

サプライズ
ゲストが
くるかも・・・

六小6年生が 見学にきてくれました

5月2日（月）、五月の快晴の日に六郷小の6年生のみなさんが、遠足で見学に来てくれました。

もともと展示室には六郷小の近くから出土した物も多く展示してありましたが、この日は特別に六郷小の工事の時に発見された埋蔵銭（中世～近世）も見てもらいました。自分たちの通っている学校から大量のお金が出てきたことにみんなびっくりした様子でした。また、普段私たちがやっている土器の接合（割れた土器の破片をくっつける作業）も体験してもらいました。

事前に連絡いただければリクエストにお応えいたしますので、ご相談ください。



菊川市埋蔵文化財センター どきどき

開館時間 8:15～17:00
定休日 土日 祝日 年末年始
入館料 無料

菊川市教育委員会 文化振興係
〒437-1514 静岡県菊川市下平川618-1
TEL 0537-73-1137

今年もお茶が
おいしいねえ



©菊川市

